

学校教育部会報告(3) 新設校の教育課程について

I 教育課程編成方針

- ① 3月開催の開校準備委員会で決定した「教育目標」”めざす3つの子ども像と教育活動の10の重点”を基本に教育課程を編成します
- ② 施設一体型の強みを最大限に生かした小中連携教育を実践します
- ③ 児童・生徒の学力分析を基に、義務教育9年間を通して確かな学力が身につく教育課程を編成します

II 特色ある教育の推進

- ① 施設一体型の小中連携教育を推進します
 - 義務教育9年間を見通した学習指導と着実な積み上げを行います
 - 小学校と中学校の連携時制を基にして、小学校、中学校双方の教員による協働指導を行います
 - 縦割り学習など9学年の子ども達の交流、共育指導を行います
 - 独自の指導マニュアルを基盤とした小中連携教育システムを確立します
- ② 英語科(外国語活動)、国語科、算数(数学)科に重点を置いた教育を行います
- ③ 特に、英語科(外国語活動)は、外国人指導者が常駐する英語ルーム(6F)で「使える英語」を指導し、国際都市福岡を担う子ども達を育成します
- ④ 全校パワーアップタイムを実施して個に応じた補充学習を強化します
- ⑤ 学習室を新たに設置して、放課後学習を行うなど家庭学習を支援します

III 確かな学力の向上

- ① 義務教育9年間を見通して、系統的な学習指導を行います
- ② 読み、書き、計算など基礎・基本の定着を徹底します
- ③ 総合的な学習の時間により、実践的活用力の育成を行います

国語科、社会科、算数(数学)科、理科、生活科、英語科
音楽科、図画工作(美術)科、家庭(技術、家庭)科、総合的学習の時間

IV 豊かな心の育成

- ① 道徳教育の充実等により、いたわりの心、思いやる心の育成を行います
- ② 人権教育を推進し、人権感覚、実践的な行動力を育成します

道徳、人権教育、読書活動、特別(学級)活動

V 健やかな体の育成

- ① 9年間を通して、運動する習慣を育成するとともに、ランチルームを中心に栄養教諭による食育を行ない健やかな体を育てます

体育(保健体育)科，食育

VI 特別支援教育の推進

- ① 特別な支援を必要とする子どもの特性を理解し，良さを伸ばす授業づくりを行います
- ② 特別支援学級や通級指導教室の充実により，中央区における基幹的な役割を果たします

VII 検討体制－教育課程編成委員会

- ① 新設校の教育課程編成にあたって，学校と教育委員会とによるプロジェクトチームを組織し，具体的な検討と作業を行います

- ② 教育課程編成委員会

指導部長，教育センター所長，学校指導課長，発達教育センター所長，舞鶴中学校長，大名小学校長，簗子小学校長，舞鶴小学校長

- ③ 作業部会（小学校部会，中学校部会，合同部会）

4校の校長，教頭，教務主任等，学校指導課長，同主任指導主事，発達教育センター所長，同指導係長，同主任指導主事，開校準備担当課長，同主査，学校計画課長，学校計画係長

VIII 教育課程編成委員会による主な作業内容

- ① 教科経営案

各教科が抱える学習課題や児童生徒の学力実態を明確にして，その学習課題の解決に向けた指導方法，指導内容等を計画し実践します

- ② 学習内容系統図

各教科ごとに，9学年を通じた学習内容の関連性を系統図としてまとめ，関連する学習単元を視野に入れた小中学校の枠を越えた授業を行います

- ③ 月別指導計画一覧表

教科ごとに，9学年を通じた月別指導計画を作成します

児童，生徒の学力分析結果を基に，課題のある学習内容の授業時間を増やすなど，つまづきの無い授業計画を策定します

- ④ 指導マニュアルの策定

小中連携校として高い教育力を継続するために，舞鶴オリジナルの学習指導マニュアル(教師用)を策定します